

【参考】 学校週5日制と教育課程改善の方向

教育展望臨時増刊 No.27 (1995年7月10日)

四 休業土曜日のとらえ方

…略…

言うまでもなく、土曜日を休業日とすることは、即その日は子どもたちが勉強しないということでもないし、してはならないということでもない。

休業日となった土曜日。学校図書館が開放されている。

月曜日から金曜日までの授業において、様々な分野で知的好奇心を刺激され、自分なりに課題意識や興味・関心を持った子どもたちが、土曜日を待ちかねて学校図書館で学習に取り組む、ということになったらどうか。

この日、従来通り教室で教師の授業を受けているのと比べて、勉強が不足するなどということにはならないのではないか。教師自らが指導する時間の長短が、即子どもたちの学習の成果に比例すると考えることは、短絡すぎないか。

それは、教師は出来るだけ多くのことを教え込まなければならない、そして教え込めば教え込むほど子どもたちの学習の成果は上がるという固定した考え方に立っているのではないか。

新しい学習指導要領や学校週5日制のねらうところはこのような教育観に立った教育の限界を認識し、新しい教育観に立った教育を実現しようとするものなのである。

当時 文部省大臣官房審議官 辻村 哲夫